IELTSライティング対策　～6.0を取るための9つのコツとポイント～

https://ielts.xsightplus.com/2016/12/05/writing60/

1．ライティングスコアはオール6狙い

・ライティング6.0を狙う人は、Task1＝6.0、Task2＝6.0が現実的なスコア
・各Taskで6.0を獲るには、4つの採点基準ですべて6点を出すのが現実的

2．時間内に最低文字数を書き上げる　～テンプレートの活用～

・時間内に書ききるためにはテンプレートの準備が有効（特にTask2）
・「暗記した文章」とみなされると減点、そうでないと評価されるためには以下のような設問パターンに応じたテンプレートを準備して使い分けることが必要

Task2の6大出題パターン
①1つの意見に対して、どの程度賛成か反対かを聞く設問
②あるものに対して、長所と短所のどちらが大きいかを聞く設問
③2つの意見を戦わせて、さらに自分の意見を聞く設問
④ある現象に対しての原因と結果を聞く設問
⑤ある現象に対しての原因と解決策を聞く設問
⑥ある現象に対しての問題と解決策を聞く設問

Copyright© Cross Sight Plus All Rights Reserved.

IELTSライティング対策　～6.0を取るための9つのコツとポイント～

３．適切なフォーマットを用いる

・フォーマットのルール

・同じパラグラフのうちは、センテンスが変わっても改行しない。同じ行に続けて書く。
・パラグラフを変える場合は、１行空ける。ただ改行だけではなく、きっちり１行空白の行を入れる。
・カンマ、ピリオドの前にスペースを入れない。
・カンマ、ピリオドの後はスペースを入れる。

・1つのパラグラフで言いたいことおは1つにまとめる
・お勧めのパラグラフ構成

Task1（アカデミック）
以下の4段構成
・イントロダクション
・オーバービュー
・ボディ1
・ボディ2

Task1（ジェネラル）
以下の7段構成
・宛名
・オープニング
・ボディ1
・ボディ2
・ボディ3
・クロージング
・署名

Task2（共通）
以下の4段構成
・イントロダクション
・ボディ1
・ボディ2
・コンクルージョン

Copyright© Cross Sight Plus All Rights Reserved.

IELTSライティング対策　～6.0を取るための9つのコツとポイント～

4．アカデミックモジュールTask1の適切な論理展開

・オーバービュー（図表から言える大まかな特徴）を適切に記述する
・比較の視点（大小、増減、順位、倍数、位置関係、前後関係など）を入れる
・データを全部言うのではなくて適切に選択して記載する

5．ジェネラルトレーニングモジュールTask1の適切な論理展開

・手紙の目的を記述する
・適切なトーン（フォーマル／インフォーマル）を選択し、一貫させる
・3つの要件にすべて答える

6．Task2の適切な論理展開

・問われた通りのポジションを書く（「どの程度賛成か反対か」なら「どの程度」まで答える）
・トピックセンテンスをパラグラフ全体を代表するように書く
・サポーティングアイデアは結論から書く（結論のあとに理由・結果・例・引用などで展開する）
・トピックセンテンスの内容から離れない
・ボディで賛否両方の立場を述べたなら結論ではどちらがなぜ強いかを説明する

Copyright© Cross Sight Plus All Rights Reserved.

IELTSライティング対策　～6.0を取るための9つのコツとポイント～

7．接続表現、指示語の適切な使用

・接続表現（等位接続詞、従位接続詞、接続副詞）でメリハリをつける
・指示語（代名詞、定冠詞など）は正確に使う

8．語彙力のアピール

・伝わる単語を選択する（5点と6点の違いは語彙の選択ミスにより伝わらない箇所があるかどうか）
・高尚な単語を使用する（伝わる単語であることが前提）

9．構文力のアピール

・伝わる構文を選択する（5点と6点の違いは構文・文法ミスにより伝わらない箇所があるかどうか）
　代表的な文法エラー例１：述語が入っていない、または2つ以上入っている節を書いている
　代表的な文法エラー例２：第2文型で、主語と補語がイコールの関係になっていない
　代表的な文法エラー例３：受動態の後ろに目的語を置いている

・複雑な構文を使用する（従属節、関係代名詞、分詞構文などの使用）

Copyright© Cross Sight Plus All Rights Reserved.